

久商で公務員になる

▼受験室をしっかりと確認して入場



公務員試験



本番だ！

▲国家公務員試験会場で いまから受験だ！

最終合格に向けて

面接練習も頑張ってます



▲集団面接の練習

個別面接の練習▶

▼本職を招いてのガイダンス



10人一次合格
した中で、
最終合格する人数

国家一般職	7人
税務職	6人
福岡県職	5人
久留米市職	3人
福岡県警察官	2人
久留米広域消防官	3人
刑務官	5人

を入れていきます。

秋になりました。いよいよ公務員試験のシーズンです。公務員受験の場合は、大学入試や民間就職と異なり、「不合格がわかった後に、出願できる次の試験」がほとんどありません。限られたチャンスを活かすために、受けられる試験は、可能な限り併願受験するのがセオリーです。そのため、公務員選択の3年生は、9月の日曜日は毎週、一次試験（教養試験など）の受験に行きます。希望先によっては、関東や近畿などの遠方まで受験に出かける生徒もいます。さらに9月下旬からは一次試験の合格発表が始まり、すぐに二次試験（面接試験など）となります。この時期は、定期考査や久商祭とも重なるため、たいへんなスケジュールとなりますが、3年生たちはわずかな時間を惜しんで、合格を勝ち取るため全力を尽くしています。

公務員試験は、一次試験に合格すれば何とかなると思っていると大間違いです。左の図は一〇人が一次試験（教養試験）に合格したとして、そのうち何人が最終合格までたどり着くかを示したものです。市役所や警察官では、特に二次（面接）試験が重視されており、最終合格者は1〜3〜1〜4まで減ってしまいます。

公務員試験は就職試験ですので、勉強ができるかどうかだけは判断されず（もちろん一次試験には合格しないといけません）、面接試験で「成績トップのAさんより、Bさんのほうが仕事内容の理解も深く、熱意にあふれている」と判断されれば、採用されるのはBさんになります。

久商では、公務員ガイダンスの中で、現職の公務員から直接話しを伺う機会を設けて職務への理解を深めるとともに、自分の想いをしっかりと伝えられるように、面接練習にも力